

1320 | 生活環境デザイン研究

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

田中克明教授、十時啓悦教授、鈴木洋教授、西川聡教授、鈴木純子准教授、萩野美有紀講師、萩原千春講師、高橋勇一郎講師

授業の概要と目標

プロダクトデザイン系クラス及びクラフトデザイン系各素材別クラスに分かれて授業を行う。

プロダクトデザイン系では、高齢者や障害者を対象とした「バリアフリー」「福祉機器」「ユニバーサルデザイン」や「共用品」など、共に暮らせる社会と生活環境を実現するための具体的な機器の提案およびデザインを行う。

クラフトデザイン系では、技術の習得を中心とした実習の流れにおいて、実材を用いた作品制作と、その目的や役割などの学習も行う。

※クラフトデザイン系の金工クラス、木工クラスについては、平成28年4月以降の入学生は選択不可。平成27年10月以前の入学生については選択可能だが、当該クラスの開講は平成31年度までとなるので注意すること。

課題の概要

プロダクトデザイン系クラス及びクラフトデザイン系各素材別クラスは、それぞれ別課題とする。

○面接授業および通信授業課題

プロダクトデザイン系

予習で行う「日常調査」をもとに、面接授業では分析と問題の抽出、生活のしやすさや楽しさを増すための機器の考案、技術的な裏付けなどから、具体的なデザインの提案を行う。

通信授業では、面接授業での提案をもとに機器のデザインを行う。

クラフトデザイン系

・テキスタイルクラス

面接授業において、格子（チェック）の研究を行い、室内空間におけるタペストリーあるいはスペース Divider（間仕切）を織物で制作する。通信授業では、商品計画の為の企画とプレゼンテーションを行う。

・陶磁クラス

通信授業において、花器をデザインする。面接授業では、通信授業でデザインした花器から1点を選んで、さらに検討を加えて制作する。

・金工クラス ※平成28年4月以降の入学生は選択不可

通信授業では、金属製室内用品またはジュエリーのリサーチ及びデザインを行う。面接授業では、デザインした室内用品またはジュエリーを制作する。

・木工クラス ※平成28年4月以降の入学生は選択不可

収納家具（キャビネット類）の制作

・通信授業では、あらゆるシーンで使われる箱もの家具についてマーケットリサーチを行い、レポートに纏める。

面接授業で収納家具の制作をするので、デザイン案を数点、スケッチ及びラフ図面を書く。

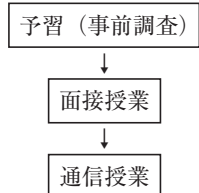
デザインは面接授業で制作出来る大きさを考慮し、複雑なデザインは避ける事。

・面接授業では通信授業課題で用意したデザイン案を基にモデルや図面による検討のうえデザインを決定する。この科目では収納家具のデザイン、制作を通して、機能と造形の関係、構造、加工方法などの基本を学習する。

*課題については学習指導書『生活環境計画Ⅰ・Ⅱ／生活環境デザイン研究／卒業制作 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

プロダクトデザイン系



[面接授業]

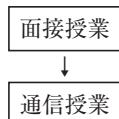
プロダクトデザイン系

前提講義後、予習の「日常調査」を分析、機器の考案、コンセプトの設定、デザイン作業、簡易モデルの制作、パソコンを使用したプレゼンテーションで講評を行う。

※面接授業前予習課題を初日に必ず持参する。

クラフトデザイン系、テキスタイルクラス

前提講義に続いて、工房においてデザイン計画、実材による作品の制作を行い、最終日に講評となる。

クラフトデザイン系
テキスタイルクラス

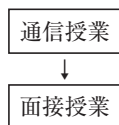
クラフトデザイン系、陶磁クラス、金工クラス

通信授業課題のデザイン案をもとに検討を加えて制作する。

クラフトデザイン系、木工クラス

通信授業課題では、収納家具（キャビネット類）の調査・分析を行い、それを基に面接授業では、通信授業課題をもとに収納家具のデザイン、制作を行う。

[通信授業]

クラフトデザイン系
陶磁クラス
金工クラス
木工クラス

プロダクトデザイン系

面接授業で考案した機器の検証と、評価を行い、その結果を踏まえた機器のデザインと企画書を作成する。

クラフトデザイン系、テキスタイルクラス

面接授業をふまえて、課題を提出する。詳細は面接授業最終日に説明する。

クラフトデザイン系、陶磁クラス、金工クラス

学習指導書にしたがって学習し、面接授業前、7月1日までに提出する。添削後、返却された課題は面接授業初日に必ず持参すること。

※提出期限については月刊誌『武蔵美通信』の「通信教育課程面接授業（スクーリング）受講条件」を参照のこと。

クラフトデザイン系、木工クラス

学習指導書にしたがって学習し、面接授業初日に必ず持参する。

成績評価の方法

通信授業と面接授業の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 生活環境デザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049の特例を除く）。

[備考] 工芸工業デザイン学科生活環境デザインコース4年次必修科目。

教材等

教科書：横溝健志、田中克明編『生活環境デザイン』（武蔵野美術大学出版局 2003年）
 田中克明監修『プロダクトデザインの発想』（武蔵野美術大学出版局 2006年）
 横溝健志 監修『工芸』（武蔵野美術大学出版局 2002年）
 田中秀穂 監修『テキスタイル 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2007年）
 小松誠 監修『陶磁 発想と手法』（武蔵野美術大学出版局 2009年）
 十時啓悦 監修『木工 樹をデザインする』（武蔵野美術大学出版局 2009年）
 学習指導書：『生活環境計画Ⅰ・Ⅱ／生活環境デザイン研究／卒業制作 平成29年度』
 （武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）